

取組 7 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境をつくります

高齢化が急速に進むなかで、介護が必要となる高齢者も増えています。高齢になっても誰もが安心して地域で暮らすためには、元気なうちから介護予防に取り組むことが重要です。それを区民一人ひとりが理解し実践することが課題です。介護保険サービスの持続可能性を確保するという効果も期待できます。

高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、「地域包括ケアシステム」を確立し、介護サービスをはじめ、地域での生活を支援するサービスを総合的、一体的に提供する必要があります。

区内では、様々な団体やボランティアが高齢者を支える活動を展開しており、人材も豊富です。こうした地域活動を担っている方々と一緒になって、高齢者を支えていきます。

(1) 介護予防活動に取り組むきっかけづくりを進めます

高齢者の中には、介護予防の重要性は分かっているけれども、なかなか取り組めない方も多数います。区民一人ひとりが自主的に介護予防活動に取り組むためのきっかけづくりを進めます。

① 高齢者を地域活動団体の活動へつなげます

平成28年度から「はつらつシニアクラブ」事業を開始しました。地域で体力測定会を開催し、専門的な見地から健康へのアドバイスを行うとともに、体操や水泳など健康づくりに取り組む地域活動団体の参加を得て、高齢者と団体のマッチングを行います。

一般に、男性には、引退後は自宅に閉じこもりがちな傾向がみられます。男性が参加したい介護予防事業のニーズ調査を実施します。

「いきいき健康券」は介護予防事業への参加を促進する観点から見直します。

② 高齢者が気軽に立ち寄り、相談できる拠点を増やします

平成28年4月に、高齢者が気軽に集い、お茶を飲みながら、介護予防について学べる「街かどケアカフェ」をオープンしました。専門スタッフによる健康相談や介護予防体操ができるほか、様々な地域活動団体が日替わりで認知症カフェや傾聴講座などを実施しています。

団体同士のつながりづくりの拠点ともなる「街かどケアカフェ」を身近な区立施設などに増設します。また、地域活動団体などの協力を得ながら、「街かどケアカフェ」のランチをつくります。

(2) 介護サービスを充実します

介護サービスと、医療・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの確立を目指します。

① 特別養護老人ホームの整備を進めます

練馬区の特別養護老人ホームの施設数は、都内で最多ですが、今後も高齢者人口が増えることから、引き続き整備を進めます。特別養護老人ホームの整備には、用地の確保が大きな課題です。土地所有者に対する土地活用セミナーの実施や公有地の活用などを進めます。

特別養護老人ホームの待機者の中には、入所の案内を行っても、入所を断る方もいるなど、待機者の状況は様々です。必要な方ができるだけ早く入所できるよう、待機者の実態を調査したうえで整備を進めます。

② 介護人材の育成・定着を進めます

介護事業の運営上の課題は、人材の確保と育成です。練馬区社会福祉事業団の介護人材育成・研修センターを活用し、離職している介護士や看護師を就業につなげるセミナーや就職面接会を開催するほか、介護従事者のスキルアップに向けた研修を充実します。

また、介護職員の初任者研修受講費用を助成するとともに、介護事業者に対しアドバイザーを派遣して採用活動について助言します。

③ 高齢者や家族を支える窓口を強化します

高齢者相談センターは、練馬・光が丘・石神井・大泉地域に各1か所ある本所と、25か所の支所が連携して高齢者の相談支援に取り組んでいます。高齢者相談センター支所を、より身近で利用しやすい窓口とするため、出張所の跡施設などへの移転を進めるとともに、在宅療養など医療と介護の連携に関する相談を充実するなど、支援体制を強化します。

④ 要介護認定を迅速に行える体制をつくります

団塊の世代が全て後期高齢者になる平成37年度に向けて、介護が必要な高齢者の一層の増加が見込まれています。

要介護認定の申請件数が増加し続けているため、平成27年度に認定審査の体制を強化し、申請から決定まで30日で行えるようにしました。

今後も要介護認定を迅速に行えるよう、認定審査員の増員や審査会の増設など、医療・福祉関係団体と協力して新たな認定体制をつくります。

(3) 区民との協働による取組を展開します

区内では、高齢者施設での体操や認知症カフェの運営、介護家族の支援など、高齢者を支援する団体や個人の活動が活発に行われています。活動意欲のある区民と連携して地域での活動を充実することは、行政の大きな役割です。今後の「超」超高齢社会に向けて、区民や地域活動団体と一体となって取組を進めていきます。

① 区民の自主活動と連携します

「はつらつシニアクラブ」や「街かどケアカフェ」において、介護予防などに取り組む地域活動団体と協働して事業を展開していきます。

また、介護家族の会や認知症サポーターなどによる「認知症カフェ」を支援して、その取組を広げます。

増加するひとり暮らし高齢者が地域で孤立することのないよう、区民ボランティアが高齢者の自宅を訪問し、高齢者相談センターの専門相談につなげる仕組みをつくります。

高齢期を迎える前から、健康意識を高めることが重要です。地域で健康づくりに取り組む団体と連携して、健康診査の受診を勧奨し、運動・食事などの改善を通じて、生活習慣病の予防に努めます。

② 高齢者が活躍できる体制をつくります

「練馬En(エン)カレッジ」の卒業生が、福祉や環境、生涯学習など様々な分野で活発に活動しています。地域で活躍する高齢者を増やすため、カリキュラムを充実します。また、介護現場において元気な高齢者が活動できる仕組みづくりを進めます。